



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ  
Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーウ

# Weekly Bulletin

30th anniversary

## 藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日  
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30  
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16  
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000  
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度  
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

**例 会 第 1 3 7 5 回： 通常例会/小杉苑**

**ソング 四つのテスト、この広い野原いっぱい : ソングリーダー 大村和宏君**

**原点回帰**

**■ 会長挨拶 松浦正秋君**



本日は法月ガバナー補佐と渡仲事務局長をお迎えしての期首のガバナー補佐公式訪問例会です。ガバナー方針などをお話いただき、地区運営方針の1つである会員増強について皆様に考えていただく内容です。よろしく願いいたします。

前回の例会は突然欠席となり大変ご迷惑をお掛けいたしました。心よりお詫びいたします。会社で例会の挨拶を考えていましたら、シカゴから帰国して2週間が過ぎていた長男がどの違和感があると言い出しました。帰国者接触者相談センターに連絡したところPCR検査を受けることとなりました。万が一を考え例会を欠席した次第です。お陰様で検査は陰性でした。結果は翌日土曜日にでました。結果を待っている間、皆様への報告は週明けの月曜日に事務局経由でメール配信しようと思っておりました。しかし、結果連絡を受けた時、今すぐ連絡をしようと思立ち、皆様にショートメールにて陰性報告をした次第です。その日藤枝市から初めての陽性者が出ました。皆様への連絡が陽性発表より後になっていたら、松浦の息子が陽性だといううわさが広まった可

能性がありました。

何らかの事に取り組み際、時として後回しにしてしまう時があります。物事を行うタイミング・時期をよくよく考える必要があると感じました。連絡・報告はすぐ行うことがいいでしょう。事業活動や日々の生活において時間軸を今まで以上に意識していきたいと感じました。

**■ 出席報告 村松章典 君**

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
41/51 80.39%	40/51 78.43%

- (1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)
- 稲葉君 ○内山君○桑原君○杉浦君○早川君  
○瀧脇君○若林君 阿井君 江崎君 川口君
- (2)メイクアップ者
- 瀧脇一啓君 (掛川) 松浦正秋君 (藤枝)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
46	44	2	7

**パーフェクト例会数 😊**

**欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします**

**■ スマイルBOX 村松章典君**

- 先々週の例会は大変ご迷惑をお掛けいたしました。誠に申し訳ありませんでした。また先日行われたゴルフ同好会コンペで優勝するこ

とができました。ありがとうございました。

松浦正秋君

- ・ガバナー補佐の来訪を歓迎します。

富澤静雄君、高杉光洋君、池ヶ谷勇君

- ・先日は父のお別れ会にご参列いただきまして有難うございました。母校を愛し、仕事や家族はもちろんのこと、RCも例会日は、自分で身なりを整え、店の者に会場まで「悪いね」と言いながら連れて行ってもらっていました耳が遠くなって話がよく聞こえないとぼやきながらも出席にこだわっていました。生前のご厚情に感謝します。お世話になりました。

江崎直利君

**スマイル累計額 99,000円**

## ■ **ガバナー補佐挨拶** 法月昭治様



皆様こんにちは。

私は本年度2020～2021年度国際ロータリー2620地区静岡第4グループのガバナー補佐を拝命致しました焼津南

RC所属の法月昭治と申します。

今日は渡仲事務局長とお邪魔致しました。

今年度のガバナー補佐訪問の第八番目の訪問先が藤枝南RCさんです。

本年度荻原ガバナーより、ガバナー補佐はガバナー公式訪問の2週間前までに各クラブを訪問して、RIテーマとガバナーの方針を説明して、その後クラブ協議会を開催してもらい、その様子をガバナー事務局に報告するよう依頼されております。クラブ協議会のテーマは「会員増強と維持」です。クラブ活動が始まったばかりのお忙しい例会時ですが、宜しくお願ひ致します。

さて本年はコロナ感染の影響で3月4月5月に行われる予定の、会長エレクトセミナー、地区研修・協議会等もすべて中止になり、代わりにDVDを見ながらの自主研修となりました。会長さんも情報量が少ない中でクラブの計画等立てるにご苦労されたと思います。

それでは最初に2020～2021年度のRIテーマを紹介いたします。

RI会長ホルガー・クナーク氏の2020～2021年度RIテーマは「ロータリーは機会の扉を

開く」です。ロータリーとはクラブに入会するというだけでなく、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための「無限の機会への招待」です。

ポリオ撲滅のような大規模なものから地域のささやかなプロジェクトまで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。世界中の友人たちと共により豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれるということです。

次に荻原ガバナーの地区運営方針と地区目標を紹介いたします。

荻原英生ガバナーの地区運営方針は

1. 国際ロータリーとの連携の上にノーブレス・オブリージュを自覚する。

ロータリアンは「選ばれし者である」という誇りを持ち奉仕活動は「選ばれし者の義務」であるとのことです。

2. クラブ主体の地域振興
3. 地区内クラブ支援
4. 増強は最大の社会貢献である。各クラブで純増3, 5%を目指す

地区目標

1. クラブ活性化ワークショップ（元気なクラブにするワークショップ）

①会員増強・維持

②ロータリーの公共イメージの向上

③ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解・推進

④ポリオ根絶を歴史の1ページに（ロータリーの対外的最優先事項）

2. クラブは奉仕の母体一大きな課題は近隣クラブと協力しよう

3. 地区セミナーと委員会・委員を積極的に活用しよう

・RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）の運用活用

・地区委員をクラブ（卓話）にお招き下さい

- 4・米山記念奨学事業への参加と支援を通じてクラブを活性化しよう

- 5・日本のロータリー100周年（2020年1月24日）を祝い、つぎへの一步に向けてRIと連携しよう

- 6・IT活用の促進 コロナの影響で身近なものになりました。

- 7・米山梅吉記念館の利用と支援

今年度はこの中に特別な事業が二つあります。

一つ目は日本のロータリーが100周年を向え

ることです。

歴史的な節目を一緒に味わい未来に向けて日本のロータリーがどうあるべきかを一緒に考えてもらいたい。

二つ目は今年度地区研修委員会委員長の松村友吉パストガバナー(焼津RC)が推進しています、昨年から2620地区でスタートしたRLIロータリーリーダーシップ研究会が、本格的に導入されます。RLI方式の研修を行い人材育成してロータリー活動をしてほしい。

以上大変かいつまんだ紹介の挨拶になりましたが今年一年宜しくお願ひいたします。

今日は短い時間ですが増強・維持をテーマにしたクラブ協議会をお願いします。

### 各市ロータリー会員数比較表

2020年6月会員数

	クラブ会員数	比率(%)	比率(%)	人口	順位	備考
焼津	55	0.040%	0.066%	136,348	1	
焼津南	35	0.026%				
藤枝	40	0.028%	0.064%	141,420	2	
藤枝南	51	0.036%				
島田	50		0.049%	101,768	4	島田・川根
榛南	28		0.039%	72,381	6	牧之原・吉田
掛川	36	0.031%	0.048%	114,388	5	
掛川グリーン	19	0.017%				
袋井	44		0.051%	86,880	3	
磐田	31		0.019%	166,203	7	



### 高杉光洋君

ガバナー補佐をお迎えして、会員増強について議論をとの内容でしたが、我がクラブは増強に関しては固まっ

ているので特別な話は無いと思います。

少しマイブームに付いて

**個々人のそれぞれにハマれること。昔でいうところの趣味だよ。**

まず語源からみると、boom という単語は「ブーン＝どかーん」みたいな爆発音のことで、何かの反響音みたいなものです。

これが日本では boom=反響=急激に爆発的に盛んになることから大流行するようなことを意味して使われるようになって、そこに個人的な「my=

私の」という単語をくっつけて造語にした、と。英語的にはトレンドかな？

つまり個人的な流行り。個人的にハマってること、というニュアンスになるわけですね。

では「ハマる」っていったいどういうことなのか。何か特定のことに深く傾倒するってことだと思う。それはどういうことなのか？ それは一言で言うと「依存する」ってこと。

「依存」で言葉はあまり良い意味で捉えられていないかもしれない。でも実は依存というのはすごく大事な概念です。

日本だと「依存」するのは良くないから「自立」しないと、って考える人が少なからずいたりする。自立という言葉の対義語のように依存って言葉を考えてる。でも実は他者に「依存」しないでいたら最終的になるのは「自立」ではなくて「孤立」なんですね。「依存」というのは実は人間にとって必要なことなんです。

どういうことかという、人というものは何にでも依存できるわけではないということ。個人の内面に「依存」が生じればそれはどこかで関係性が深まったということなんです。音楽家が音楽をやらないと精神を病んでいくように、アスリートが身体を動かしてないとストレスになるように、何かを深めてる人というのはその対象に依存してる。依存することで人は救われてる。

依存するだけではもちろん救われぬ。でも依存することによってそれが行動に繋がるんだよね。良くも悪くもではあるけれど。

パチンコに依存してる人はそれをやめられないけれど、それを続けてることでどこか精神の安定がはかれていたり。

依存の深さによっては依存症にもなりうる。

でもだからといって悪いことだけではなくて。

例えばゴルフに依存してる人がいるかもしれない。依存してるから週末になればゴルフ場に行きたくなるし、練習もしたくなる。

それは結果としてゴルフが依存対象として無意識レベルでハマれてるからなんだよね。もしゴルフにハマっていなかったとしたらその人は、もしかしたら鬱病になっていたかもしれない。なっちはいなかったかもしれない。それはわからない。でも依存できるほどのレベルで何かひとつのことにハマれるというのは既に1つの才能だし、その効果として鬱に陥ることを回避してる可能性はあると言える。何故ならハマっていることを行動として行えるということはある種の発散



=デトックスになるから。

免疫力も上がるかもしれない。

個人レベルでわくわくできること。それがおそらくハマるってことで、それはおそらくマイブームということになるんじゃないでしょうか。

この言葉はたぶん永続的なニュアンスではないと思う。どちらかと言えば「現状」を言い表しているのではないかな。つまり「流行」の意味合いで使われる言葉なわけだから、流行り廃りの流行ってる瞬間を捉えた表現だよ。個人が「今の今、ハマってること」というニュアンスになると思う。マイブームを持っててる人はある意味 幸せだと言えるでしょう。何故なら何かに依存できているから、ということになる。依存できていることが人は安心感につながるんだね。

つまりプロフェッショナルに何かを極めるほどのことではなくても個人的に深くハマっていられば人は幸福なんだと思う。それは鉄道写真でもいいし、園芸でもいいし、旅行でもいいし、車や楽器でもいいし、仕事でもいいし、恋人でもいい。

ハマれるということは「生きてる」という実感に繋がってるのだと思う。世の中は「効率」ばかりを考えて生きてる人がいっぱいいるけれど、本当に大事なことは効率でははかれないこと。何故なら人は効率では幸せにはなれないから。何かに本当に深くハマろうとしたらそれは ある程度 効率を無視しないとイケなくなる。

おそらくけどみうらじゅんの提唱したマイブームという造語は世の中の人それぞれが、そうやって個々人のマイブームにハマれることで、ひとりひとりが内面的に(金銭的にはなく)豊かに生活できるのではないかってことを意味するようなことだったんじゃないのかな。

みうらじゅんのことはよくわかりませんが、とにかくそれが私の思う「マイブーム」という言葉の背景にある現代的なニュアンスなんじゃないかということですか。

たわいもないようなことでもマイブームを持つてる人は幸せにその時間を過ごしてるのだと言えるんじゃないだろうか。

ロータリークラブを永遠のマイブームにして頂けたら幸いです。



## 渡邊博文君

藤枝南クラブは現在51名です。出席率も毎回80%から90%で会場からいって丁度よい感じですよ。

拡大も大事ですが、維持=増強を図ることはもっと大切かと思えます。組織として数を増やすことを考えるより、中身を濃く強くする方が効率良く、効果的に組織が熟成するかと思えます。

各業界で活躍され、人間的にも素敵な魅力的な方々多くいることが、私の当時の入会理由でした。そんな方々とお会いして、様々なお話ができ、ご指導いただければ、どんなに素敵なロータリーライフになるのでしょうか。入会して、そんな先輩たちとお付き合いさせていただき、自分自身が人として成長することで、魅力あるクラブとして外に発信でき、他者からの入会動機繋がり、会員拡大にも繋がっていくことと考えます。

## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
8/7(金) 第1376回	会員卓話	理事会
8/21(金) 第1377回	財団米山委員会	小杉苑
8/28(金) 第1378回	納涼夜間例会	小杉苑
9/4(金) 第1379回	会員卓話	理事会

## 今週の一言

渡邊博文 君



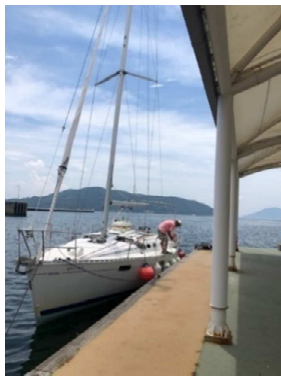
思い出の旅行は、ラオス人民民主共和国にJCのグローバルトレーニングスクールとして訪ねたことでした。目的は、学校にトイレや井戸と作ることに、二毛作

できるように水路を作ることでした。印象に残っていることは、小学生の子供たちが、40度の炎天下の中で、裸足まま遊んでいることでした。靴が買えないとのこと。しかし、子供たちは笑顔いっぱい元気なことも、印象に残っています。

### 🚢ウツちゃんの航海日誌📖

どこまでか忘れ、今日が何日か何曜日か忘れ、このままいくと、手前の名前さえ忘れそうで、これはこれで良いことか？あれから、いろいろありました！串本から潮岬を越え、須佐美に入り、紀伊田辺のシータイガーマリーナに入り、翌日一気に紀伊水道 50 マイルを渡り、徳島に入りました。徳島県庁前にケンチョピアマリーナがあると行って見たら係留他がなく苦労しました！

居心地の悪いケンチョピアを早朝 4:45 に出港！最大の難関鳴門海峡に挑みます！潮止まりは朝 8 時、つまり、北流、瀬戸内海には入り込む潮が 8 時に終わり、南流、瀬戸内海から出てくる潮に変わります！つまり、7 時くらいから北流の最後の潮にのっかり、一気に渡り、出来る限り離れる、これが原則か？7 時に到着、けつからの潮に乗っかり、どんがめが 10 ノットで渡切りました！潮止まりなのに舵が効かなくなったり、渦潮が見えたり、緊張しました！一路、小豆島草壁港へ！無事、小豆島草壁港に係留！



～歓迎～

法月昭治ガバナー補佐 渡仲義雄事務局長

